

西遊記

2011



小椋 由紀子記者

時間ぎりぎりに入った。

ドライブウェイは、怖い

道に入ると、小さなヒメボタルが迎えてくれた。月明かりを頼りに登る。気がつけば、後方がほんのりと明るくなっていた。

は「きょうの御来光は四十点。でも雲海は迫力があつた」と講評。温暖化や獣害などで危機にさらされている山頂一帯の高山植物について、実物や写真を見せながら丁寧に説明してくれた。

松井さんによると、山の魅力は「毎日表情が違ふところ」。ヒメボタルは七月下旬、花の盛りはお盆前ごろまでという。お盆前ごろまでという。お盆前ごろまでという。お盆前ごろまでという。

車中泊で明け方も満喫

がりくねった道の先には

みを帯びた空。連なる山に雲海がかかり、白く

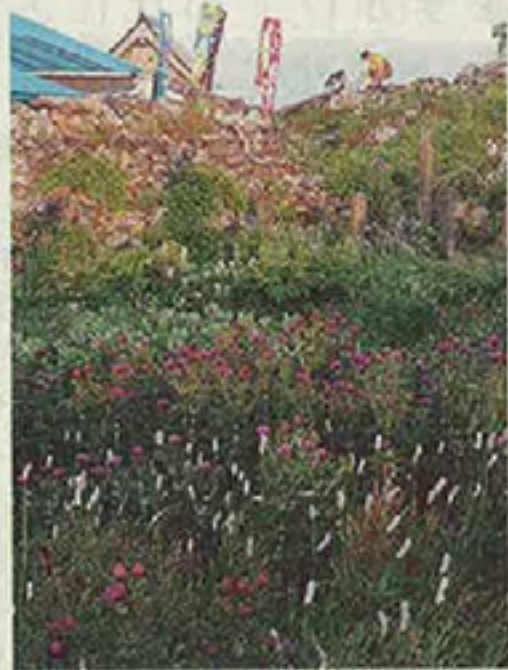
約四十分走り、駐車場

めらかに静かに降りてい

長袖でも涼しい。車の

れ間から太陽が顔を出す

午前三時半ごろ、遊歩



山頂一帯ではさまざまな高山植物が楽しめる



雲海に昇る御来光を楽しむ人たち=いずれも伊吹山山頂中央で

岐阜、滋賀県境の伊吹山(標高1,377m)山頂へ通じる「伊吹山ドライブウェイ」(全長17km)の夏季営業が15日、始まった。夏の伊吹山は、花畑はもちろん、夜景に星、ヒメボタル、御来光と見どころが盛りだくさん。山頂付近の平均気温は21度という。山頂駐車場に車中泊し、「初心者向け・明け方の伊吹山」を満喫した。

ドライブウェイの営業時間は、通常午前八時〜午後六時だが、七月十五日〜八月三十日は、午前三時〜午後十時に延長。夜十時までに入場すれば、山頂駐車場での車中一泊も可能だ。十六日の日の出は午前四時五十分。前夜から乗り込んだ。

伊吹山ドライブウェイ 夏季営業始まる